医療機関の方へ

ご予約について(完全予約制)

紹介元医療機関から当院地域連携 室へ、初診予約申込書に診療情報 提供書と採血データを添えてFA ×をお送りください。

> ※初診予約申込書のフォーマットは池井 病院ホームページよりダウンロードでき ます。

当院地域連携室より、紹介元医療 機関へ予約日時や必要書類等を FAXにてお知らせいたします。

地域連携室直通連絡先

© 0984-24-0115

DAX 0984-24-0119

アクセスマップ







於 ^{医療法人} 池井病院

20984-23-4151

〒886-0007 宮崎県小林市真方87番地

池井病院 糖尿病教育入院

利用案内





患者さまをサポートする 医療スタッフ

糖尿病専門医や薬剤師、日本糖尿病療養 指導士や宮崎地域糖尿病療養指導士の資 格を持った看護師、管理栄養士、リハビリ スタッフなど、多職種のスタッフが連携 をとり、患者さまの入院生活をサポート。



糖尿病教育入院とは

糖尿病は「治す」よりも「コントロール」 する病気です。

教育入院を通して、食事療法や運動療法を はじめとする、糖尿病と上手にお付き合い する方法を学びましょう。

糖尿病に関する専門的な知識を持ったたく さんのスタッフが、患者さまひとりひとり に合った目標を立て、できることを一緒に 考えながら治療をサポートします。



費用シミュレーション



Aさん(50歳)の場合

- ・一般的な収入(月収26万以下)
- •入院期間14日間

医療費・・・約156,000円

(3割負担)

食事代・・・ 19,320円

(1日1,380円×14日)

合計 約175,320円

●自己負担限度額認定証をお持ちの場合・・・

	自己負担限度額 (月額)	食事代	対象者			
ア	252,600円(医療費- 842,000円)×1%	1食460円	標準報酬月額 83 万円以上			
1	167,400円(医療費-558,000円)×1%	1食460円	標準報酬月額 53 万~79 万円			
ウ	80,100円(医療費-67,000円)×1%	1食460円	標準報酬月額 28 万~ 50 万円			
I	57 ₃ 600 PJ	1食460円	標準報酬月額 26 万円以下			
才	35,400円	1食210円	低所得者: 住民税非課税			

医療費・・・ 57,600円

(3割負担)

食事代・・・ 19,320円

(1日1,380円×14日)

合計 76,920月



A さんの窓口での支払いは

76,920円となります。

費用についての詳しいお話しは、池井病院 1 階受付窓口 またはお電話にてお問合せください。

標準的な糖尿病教育入院スケジュール

入院日数	外来	教育1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	988	10日目	11日目	12日目	13日目	退院
検査	採血、胸部レ電図、検尿ないます。	ントゲン、心 どの検査を行 食前食後に打 日の血糖値のます。	D変動を調べ 2 必要に応じて心 査をします。	に練習していき			加脈硬化、神経障害/ B超音波検査、腹部(体脂肪を測定します。
薬物療法	他院の薬もふくめて、使用中のお薬があれば、入院時に持ってきてくたさい。	・血糖コントローが ルのため、おあります。 ・必要な場合はと シンスリンます。		ご自分でインスし ン注射ができるよ うに、練習してい きます。					血糖のコントロー ル状態をみてお薬 が変わる場合もあ ります。						———
看護	体温測定や血圧測定をします。	J													
食事療法				入院後1週間以内	に、食事療法の重要	性について理解を深	│ ₿めていただきます。 │					食事療法につ理解の確認を			
運動療法					検査結果を踏まえ 医師が必要と判断 すれば、運動療法 指導を開始します。				適宜、運動内容や 負荷量の調整を 行っていきます。					退院後の運動療法 について指導を 行います。	
説明•指導	入院案内を外来で行います。 (必要書類をお渡しします) 病歴や生活状況等の問診を行います。		指	導内容	□糖尿病とは(□糖尿病による□糖尿病による□薬物療法(経	神経障害、足 <i>0</i> 5失明•網膜症	D手入れ	□糖尿病の核 □食事療法の□運動療法の□	ソコツ			対策:シックラ 病気			

食事療法



糖尿病の治療食は、健康長寿食とも言われる食事で、他の疾患にも 共通して行える食事療法です。 最も大切とされる自己管理が長続 きできるよう、やさしく丁寧にサ ポートします。

運動療法



インスリンに頼ることなく血糖値を下げることができる運動療法は、 食事療法に次いで重要な治療法です。患者さまの状態等を考慮しつ つ、有酸素運動を中心にメニューを作成し、実践していただきます。

薬物療法



食事療法と運動療法で十分な血糖 コントロールが得られない場合に 薬物療法を併用します。薬の使用 に不安がある、自分が使う薬はど ういう働きをするのかなど、わか らないことがあれば、医師や薬剤 師に遠慮なくご相談ください。